

令和5年2月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

赤木 幸仁 議員

教育行政について

(1) 高校教育と地域との連携について

高校・地域連携コンソーシアムの内容と必要性の確認

- ・これからの高校のあり方を考えていく時、設置者の県と高校のある地元が連携することも必要と考えるが、県教育委員会の考えをお尋ねしたい。

(教育長答弁)

少子化の進行により、離島・半島地域の県立高校では小規模化が進んでいる中、「学校を維持できなくなれば、その地域の活力は低下してしまう」との思いから、本年度、県下の市町を積極的に訪問し、今後の県立高校のあり方などについて首長等と意見交換を行ってまいりました。

これらを踏まえ、高校が担うべきビジョンの構築とその実現に向けた取組として、新年度において、県と市町が連携して、高校を地方創生の核として地域の活性化につなげる事業を組み立てたところです。

- ・次年度の新規事業「高校・地域連携イキイキ活性化事業」におけるその取組の概要をお尋ねしたい。

(教育長答弁)

本事業においては、県、市町、高校、企業等からなる地域コンソーシアムを立ち上げ、専門的知見を持つアドバイザーからの助言を得ながら、学校の魅力化と地域の活性化を連動させた取組を進めてまいります。

例えば、高校の魅力ある「学び」とUターン施策を組み合わせることで移住者数を増やしたり、地域が求める産業人材の育成を図り企業誘致を促進するなど、高校生の若い力を活かすことで、地域の活性化の動きに厚みを持たせたいと考えております。

- ・新規事業について、どのような成果を期待しているのか、お尋ねしたい。

(教育長答弁)

地域コンソーシアムによる事業を通して、高校生が地元の課題や産業を学びながら、ふるさとへの思いを育むことはもちろん、コミュニケーション力や課

題解決能力を磨きあげ、希望する進路を実現できるよう、指導体制やカリキュラムなどの教育環境についても充実を図ってまいります。

このように、特色ある教育活動を展開することで、地域の多くの子ども達にとって、ふるさとの高校で学ぶことが選択肢の1つとなるよう、魅力ある学校づくりに努めてまいります。